

各地で無病息災 五穀豊穣を祈り 「どんど焼き」

正月の伝統行事「どんど焼き」が1月11日(土)、12日(日)を中心に市内各地域で開催されました。

「どんど焼き」とは、小正月(1月15日)の行事で、「正月の松飾り」、「しめ縄」、「書き初め」などを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の火祭り行事です。一般的には、田んぼや空き地に、長い竹や木、わら、かや、杉の葉などで小屋を作り、正月飾りや書き初めで

飾り付けをし、それを燃やします。その後、残り火で、柳の木や細い竹にさした団子、あるいは餅を焼いて食べるというものです。

また、どんど焼きの火にあたり、焼いた団子を食べれば、その1年間健康でいられるなどの言い伝えもあり、無病息災・五穀豊穣を祈る民間伝承行事です。

戦後は、消防法による制限などから、各地で廃止が続出しました。

その後、少しだけ復活の声がおこ

市内小学校で「文武両道教育推進事業講演会」 大きな「夢」をもつ大切さ学ぶ

市では、文武両道教育推進の啓発事業の一環として、市内全小学校4年生から6年生までの児童約700人を対象に「文武両道教育推進事業講演会」を開きました。

1月17日(金)には、烏山小を会場に荒川小と鳥山小、七合小、境小の児童が、23日(木)には、荒川小を会場に荒川小と江川小の児童が合同で参加しました。

講演会には、トライアスロンナショナルコーチであり、宇都宮村上塾代表を務める村上晃史さんを講師に招き、「小学生の時に考へて

ほしいこと」と題し、夢、希望、志をもつことや一番を目指す重要なことなどが講演されました。村上さんの、「夢は目標にしないとかなわない。目指すことは誰にでも許される権利なので努力することが大切」という訴えに熱心に耳を傾け、うなづく児童の姿もみられました。

荒川小を会場に開かれた講演会。



高齢者施設で踊りや歌を披露 すくすく保育園児

12月20日(金)、すくすく保育園の年長組が市内の高齢者福祉施設「ほつとからすやまデイサーカス」で開催された「高齢者施設で踊りや歌を披露すくすく保育園児」の活動を行いました。

して握手。会場は温かい雰囲気で包まれていました。



①ほのぼのと…(曲畠自治会)。②早く団子が焼けますように(二原育成会)。
③どんど焼きにうきうき(南大和久育成会)。④燃え盛る火(向田西一有志)。

「ピニャタ」を披露

にここにこ保育園でメキシコ伝統行事

にここにこ保育園のクリスマス会が12月20日(金)に開かれ、メキシコの伝統行事「ピニャタ」が披露されました。



園児が「ピニャタ」を一生懸命叩く。

ピニャタは、中南米に広く伝わり、クリスマスや誕生日などのお祝い事に行われる伝統行事。丸い張り子にお菓子が詰められ、回りには数本のトゲが出ています。このトゲは、誰の中にもある悪い心。これを棒でたたき落とし、中の菓子を食べて、強く正しい心にしようというものです。

この行事は、同保育園の一時保育を利用して、いたメキシコ出身の大久保レイナさん(藤田)が例年指導しています。

クリスマス会には、全園児が参加。舞台のピニャタを年少組から年長組の園児の順に棒でたたきます。トゲには、「先生の話を聞けない心」や「意地悪してしまう心」などと書かれた短冊が吊るされ、悪い心を退治しました。壊れて中の菓子が飛び出すと、大きな拍手と歓声が起きました。

最後に、園児から手作りの「クリスマスリース」をプレゼント。ビスセンター」を訪れ、お年寄りとの交流を楽しみました。

同施設では毎年、地域交流の一環として市内幼稚園や保育園の園児を招待しています。園児たちは、緊張するなか、練習してきた踊りや歌を一生懸命に披露。



お年寄りと交流する園児たち。

鳥山保育園児と卒業生が交流 「大型かるた」に大興奮

鳥山保育園では、1月7日(火)、「かるた大会」を開き、園児31人と同園の昨年度卒業児20人がお正月行事を楽しみました。

これは、就学児との交流を通して、園児に就学への興味や関心を持つてもらおうと例年開かれるものです。保育士お手製の「大型かるた」に子どもたちは大興奮。会場には、「頑張れ」と応援し合う子どもたちの声が響きわたっていました。



シリーズ 市の文化財 第34回



渡辺潭北の墓（金井）

市指定文化財

渡辺潭北は、延宝5年(1677)に鳥山で生まれました。成長して江戸に出て医術を学び、その傍ら、同郷の早野巴人とともに宝井其角に入門し、俳諧(俳句)も修めました。巴人の弟子であった与謝蕪村とも交流があったそうです。

潭北は、俳諧の師として諸国の文人や庶民と交わり、医者として農村などで医術を施し、乞われれば、俳諧話、処世術、様々な事柄の講話を行いました。そして、これらの話を纏めた「民家分量記」を始め、数々の教訓書を執筆し、庶民教育の先駆者となりました。

延享元年(1744)、旅先で死去しました。現在、善念寺に墓が残されています。



9.2メートルのAE-TOWERを囲んで。

T(栗原正躬代表)がソーラー避難誘導塔「AE-TOWER」を本市に寄贈し、現在整備が進められる新消防庁舎入り口に設置しました。

この組合は、公益社団法人世田谷工業振興協会の会員で、宮原に研究施設を置く(株)田中電気研究所



鬼のお面上手にできたね！(烏山聖マリア幼稚園ひよこ教室)。

有限責任事業組合ソーラーJPT AE-TOWERを本市に寄贈

有限責任事業組合ソーラーJPT

等4社で構成され、阪神淡路大震災を契機に地域防災のための避難誘導塔を開発。塔の先端には、遠方からでもわかる点滅した光を放ち、これを頼りに最寄の避難場所へたどり着くことができます。

栗原代表は、「防災の一つのシンボルとして活用して欲しい」と話していました。



代表7人による鏡開き。

新春迎え 賀詞交歓会

市、商工会、農業協同組合による賀詞交歓会が、1月10日(金)、鳳月カントリー倶楽部で開かれ、行政関係者や各種団体の代表者など130人が参加しました。

当日は、主催者を代表し大谷範雄市長が、「景気の明るい兆しに期待を込め、『市民の暮らし優先』を基本に、市民が幸福に暮らせるまちづくりを進めていきたい」とあいさつ。続いて、佐藤雄次郎市議会議長、三森文徳県議会議長、大貫良之那須烏山警察署長が祝辞を述べました。また、鏡開きなどを行い、明るい年となるようにと願いました。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みんなからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課秘書広報担当
☎0287-83-1112

ママにも夢を！ 子育てするママたちがズンバ教室で交流

NPO法人野うさぎくらぶ矢口和美代表では、子育てに興味がある人を対象に「ママズドリームプロジェクト」と題し、月に2回、インストラクターの石川奈津美さんを講師に招き、ズンバ教室を開いています。

ズンバとは、ラテン系の音楽とダンスを融合させて創作されたダンスを体験し、さわやかな汗を流していました。中には、子連れで参加する人も多く、子どもたちも一緒になって踊るなど和やかな雰囲気でした。参加者からは「たまに身体を動かすのは気持ち良い」と好評です。

矢口代表は、「たくさん的人に参加してもいい、普段の生活で自分に足りない部分をこの場で発見してもらえたたら」と話していました。



ズンバを楽しむ参加者たち。

エコノミクス甲子園県大会

羽藤晶さん・小室竜也さん全国へ

第8回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の栃木大会(足利銀行主催)が、12月14日(土)、足利銀行本店で開かれ、矢板東高の羽藤晶さん(田野倉と小室竜也さん(上境)の「チーム矢東」が優勝しました。

これは、金融経済の仕組みを理解してもらおうと認定特定非営利活動法人金融知力普及協会が毎年開いているもので、栃木

県での開催は初めて。県内9校から18組36人が金融や経済の知識を競いました。

大会を前に羽藤さんと小室さんは、「狙うは全国優勝。焦らず冷静に自分たちしさを出したい」と声をそろえていました。

2人は、2月2日(日)に、東京で開かれた全国大会に出場し、全国から地区大会を勝ち抜いた40組の高校生と競いました。



塩谷桂大さん 箱根駅伝と都道府県駅伝で大活躍！

田野倉出身の塩谷桂大さん

(中央学院大学2年)が、1月2日(土)、3日(日)に開かれた「第90回東京箱根間往復大学駅伝競走」に2年連続で出場しました。

塩谷さんは、戸塚から平塚までの往路3区を走り、5人を抜いて区間4位でタスキをつなぎました。なお、中央学院大学は総合成績12位でした。

塩谷さんは、「昨年の経験を生かし、体幹やメンタルを鍛えるなど準備ができた。今年、シード権を落としてしまったので、予選会ではトップ通過し、箱根駅伝3区を走る塩谷選手。

杉本みゆきさんが満100歳

杉本みゆきさん(南1丁目)が、1月20日(月)、満100歳を迎え、大谷範雄市長

から花束や祝詞等が手渡されました。現在、市内の施設で過ごす杉本さんは、お茶目でよく喋るのが印象的。食事も3食しっかりとおり、大好物の「桜なんぶ」は365日、毎食かかさず食べています。



息子さんと仲の良い杉本さん。

なお、第90回東京箱根間往復大学駅伝競走には、烏山高校出身で上武大学4年の高津戸翔太さん(茂木町)も復路7区を走りました。

農業・農村児童画コンクール 青木佳祐さんが最優秀賞

鳥山小3年の青木佳祐さんが、「平成25年度ふるさとどちぎ農業・農村児童画コンクール」中学年の部で最優秀賞を受賞しました。

これは、食と農に対する関心を高めようと、ふるさとどちぎ21活性化塾が毎年開いているもので、今回は県内158小学校から1182点の作品の応募がありました。



絵を描くのが好きと話す青木さん。

青木さんの作品は「近所のおばさんからスイカをもらうやりとりを表現した絵。何度も失敗をしながら書き上げた」という青木さんは、「1、2年生

の時は、優良賞と悔しい思いをしていたので、今回、最優秀賞をとれてうれしかった。また、来年も最優秀賞を狙いたい」と話していました。

おめでた

・匿名希望者様(北海道札幌市)から5万円が寄付されました。
・西山王枝様(東京都久留米市)から5万円が寄付されました。

赤ちゃん名 (保護者)住
吉羽 純一(祥子)藤
小西 墨純(翔と)
本嶋 球也(拓雄・貴美子)
王山 田嶋 桃香(拓雄・貴美子)
田田 田嶋 怡香(勇介・明日香)
田田 田嶋 太(暢・綾)
田田 田嶋 嘉怡(太・綾)
田田 田嶋 齋藤 聖修(太・綾)
田田 田嶋 藤山 愛(太・綾)
田田 田嶋 老齋 聖修(太・綾)
田田 田嶋 松藤 聖修(太・綾)
田田 田嶋 山息 聖修(太・綾)
田田 田嶋 吹華(淳枝・佳奈)白
田田 田嶋 茂樹(淳枝・佳奈)白
田田 田嶋 里美(淳枝・佳奈)白
田田 田嶋 上境 長野(正行・紀子)興
田田 田嶋 瞳(正行・紀子)興
田田 田嶋 神原 久野(正行・紀子)興
田田 田嶋 境野(正行・紀子)興
田田 田嶋 長野(正行・紀子)興

田田 田嶋 齋藤 聖修(太・綾)
田田 田嶋 藤山 愛(太・綾)
田田 田嶋 老齋 聖修(太・綾)
田田 田嶋 松藤 聖修(太・綾)
田田 田嶋 山息 聖修(太・綾)
田田 田嶋 吹華(淳枝・佳奈)白
田田 田嶋 茂樹(淳枝・佳奈)白
田田 田嶋 里美(淳枝・佳奈)白
田田 田嶋 上境 長野(正行・紀子)興
田田 田嶋 瞳(正行・紀子)興
田田 田嶋 神原 久野(正行・紀子)興
田田 田嶋 境野(正行・紀子)興
田田 田嶋 長野(正行・紀子)興

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

児童生徒のコンクール結果

- 平成25年度ふるさとちぎ農業・農村児童画コンクール
- 【中学年の部】
- ▽最優秀賞..青木佳祐(鳥山小3年)
- ※13ページに掲載記事あり

- 平成25年度全国中学生人権作文コンテスト
- 第33回全国中学生人権作文コンテスト
- ▽感謝状..下江川中学校

ご寄付ありがとうございます

■ふるさと応援寄付金

・南那須地区工業者懇話会様から6万6360円が寄付されました。

JR烏山線に蓄電池電車の運行記念して 春の山あげ祭



- | | |
|--------|--|
| ■日 時 | 3月15日(土) |
| | ①午前11時30分~ |
| | ②午後2時45分~ |
| | 「蛇姫様」の公演 |
| ■場 所 | JR烏山駅前通り |
| ■他イベント | 駅前「おもてなし広場」で市内グルメ、特産品販売等
午前10時~午後4時30分
※関連イベントとして、東力士「酒蔵まつり」も開催されます。(3月15・16日
午前10時~) |
| ■問い合わせ | 那須烏山市商工観光課
☎0287-83-1115 |

広告掲載募集中

■掲載基準

位置..各ページの最下段(表紙除く)
サイズ..縦4・7cm×横8・4cm
料金..単色 1回5千円
カラーワーク 1回1万円
(裏表紙)

申込..掲載希望の前月10日まで
詳しく述べは、総合政策課秘書広報担当☎0287-83-1112までお問い合わせください。
なお「広報お知らせ版」への広告掲載や、市公式ホームページへのバナー広告掲載も同時に募集しています。

薪ストーブ専門店

◎薪ストーブ販売・設計施工、アクセサリー・薪販売
薪割り体験・薪ストーブクリッキング実演開催中!!

全国26店舗 安全安心な施工ネットワーク

ファイヤーライフ真岡

真岡市下高間木2-9-2 TELO285-85-5687

<http://www.firelife.jp> Open:10:00~18:00 水曜日定休



市の人口 2014.1.1現在
()対前月比
人口 27,723(-18)
男 13,625 女 14,098
出生 18 死亡 44
転入 55 転出 47
世帯数 9,573
※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

- 『人生はドンマイドンマイ』 美輪 明宏
『なぜ生きる2』 高森 顕徹
『ゼロ戦と日本刀』 百田 尚樹
『小泉純一郎の「原発ゼロ」』 山田 孝男
『ぼくは戦争は大きい』 やなせ たかし
『アニメーション、折りにふれて』 高畠 烈
『新老人の思想』 五木 寛之
『人生はまだ旅の途中』 桐島 洋子
『一私小説書きの日乗 憤怒の章』 西村 賢太
『雪月花黙示録』 恩田 陸

●児童図書●

- 『ふるい怪談』 京極 夏彦
『鬼まつりの夜』 富安 陽子
『かいけつゾロリのまほうのランプ ヘッ』 原ゆたか
『つみきだいさくせん』 新井 洋行

- 『あしへエラい!』 中川 ひろた
『おにのパンツ』 鈴木 博子
『だるまなんだ』 おとなり 修司
『おうちでんしゃはっしゃしまーす』 間瀬なおかた
『ミッフィーとマティスさん』 菊地 敦己

●CD●

- 『アヴィル・ラヴィーン』 アヴィル・ラヴィーン
『アートポップ』 レディー・ガガ
『ミッドナイト・メモリーズ』 ワン・ダイレクション
『あまちゃん 歌のアルバム』 あまちゃんオールスターズ
『島倉千代子全曲集 2013』 島倉千代子
『みちのく民謡ベスト』 福田こうへい
『ブラヴァ・ディーヴァ・ミワ』 三輪 明宏
『入り口のない出口』 ももいろクローバー

編集後記

○今年から本格的に始めたスノーボード。ウェアや板…必要なものをそろえ、いざ雪山へ！山はやはり景色が綺麗！太陽の光が降り注ぐグレンデを頂上から見る景色は絶景です。自前の一眼レフカメラを持って行きたいくらい！(破損させる自信しかないので絶対持っていきませんが…)

○太陽の光といえば、今月号の広報でも紹介しましたが、閉校した七合中の園庭に太陽光発電所が完成しました。それを聞いた父は太陽を見ながらこんなことを言っていました。

○「太陽光ブームのせいでソーラーが光を吸収して、太陽が痩せてきたよな。今まで光が地面で跳ね返って太陽にパワーを戻していたのに！異常気象が増えたのは太陽が痩せて力が発揮できないからなんだ」
○と…。「確かに！」と納得してしまった自分が恥ずかしいです。太陽が痩せるわけないのに…だまされた…。

●おわびと訂正

広報那須烏山1月号8ページの「とりたて野菜直売所」の記事で、会長「大久保金夫」とあるのは「大窪金夫」の誤りです。おわびし、訂正します。

川柳	篠崎 酔月 選
野心より本心言つてお付き合い 滝口 リン(志鳥)	コーラスを楽しむ母の昼夜がり 須田 孝子(城東)
清らかな心介護を担つてゐる 杉山幸栄子(八ヶ代)	健康な友が今日だけ羨まし 杉山幸栄子(八ヶ代)
人日や半日かけて医者通り 伊藤 博志(田野倉)	清らかな心介護を担つてゐる 小堀 翠泉(中山)
客去りて軽くなりたる冷蔵庫 高野 洋子(興野)	三万石の雪の降りけり城下町 山村ノリ子(初音)

短歌	福澤 悅子 選
やわらかき春の光はここにさし穂孕 番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。	む麦の青き匂いす 須藤 ヤス(志鳥)
春を待つ人もまばらな那須の地にて 木村キヌ子(落合)	故郷の野や川青空変らざり変りしは 田島 静子(中山)
出会いし友との別れさびしも 川俣登志子(旭一)	年暮るる厨に木洩れ日揺らがせて山 須藤 ヤス(志鳥)
作品募集	文芸



上から、親子で仲良く「鬼のお面」作り(子育て支援センターきらきら)／鬼を退治する子どもたち(烏山聖マリア幼稚園ひよこ教室)。

節分は、現在では立春の前日をさしますが、もとはそれぞれの季節が終る立春、立夏、立秋、立冬の前日の計4回でした。中国から伝えられた習俗で、春を迎えるにあたって邪気や災難を払い、新しい年の福善を願うものとされています。

市内では、2月3日(月)の「節分の日」を

前に、一足早い節分の行事が行われました。

くり」を開き、未就園児の親子10組が「鬼のお面」作りに挑戦。クレヨンを使い、色とりどりのお面が完成すると子どもたちはうれしそうに頭につけていました。

鳥山聖マリア幼稚園ひよこ教室で「鬼退治」

烏山聖マリア幼稚園のひよこ教室では、1月27日(月)、「もうすぐ節分!おにをやつつけよう!」が開かれ、未就園児の親子約50人が参加しました。「鬼のお面」を作った後は、いよいよ鬼退治。鬼の登場に驚いて泣いてしまう子もいましたが、元気に鬼を退治しました。

駅伝大会SNAPSHOT!



タスキを待つ選手。



「火の用心」のハチマキをつけて力走。



「任せたぞ!」とタスキをつなぐ。

第8回那須烏山市駅伝競走大会の様子をカラーでご紹介します。

有料広告

チラシ・封筒・伝票・看板・ホームページ
フルカラー共同広告 毎月25日発行 1枚 5,250円~

アドワークス 烏山 検索 ケータイで見る

株式会社 アド・ワークス
那須烏山市野上1162 (寺澤太鼓店前)
Call 0287-83-8633



地元の声援を胸に。